

# 国購入のコロナ薬、7割未使用 430万人分、廃棄の恐れ

5/11 共同通信



国が購入した新型コロナの高額な飲み薬 560 万人分のうち、約 77% に当たる約 430 万人分が使われるめどが立たないまま残ったことが 11 日、分かった。厚生労働省によると、メーカーによる薬の一般流通が始まった上、感染症法上の位置付けが 5 類に移行し、緊急時を除いて国の購入分を出荷できなくなった。消費期限を迎えたものから廃棄される見通し。国の公表資料などを基に算出した。

五十嵐中・東京大特任准教授(医療経済学)は「薬が不足した場合は健康リスクが生じ、多すぎた場合は金銭的損失がある。それぞれどこまで許容するか、次の感染症に向けて議論が必要だ」と話している。

厚労省によると、塩野義製薬のゾコーバは計 200 万人分を購入した。MSD のラゲブリオは 160 万人分、ファイザーのパキロビッドは 200 万人分を確保。

公表されている購入数と出荷数の資料などから計算すると、24 年 3 月末時点でゾコーバ約 177 万人分、ラゲブリオ約 78 万人分、パキロビッド約 175 万人分が使われずに残っていた。単純計算すると計 3 千億円超に相当する。

